

## 子どもたちの 「学び」と「育ち」を見守る

全日本私立幼稚園連合会 会長 香 川 敬



新年にあたり、全ての子どもたちの健やかな成長と、全国八千の私立幼稚園及び認定こども園の益々のご発展を心からお祈り申し上げます。

先日、ある園を訪れて教室に入った途端、何かいつもとは異なった感覚が生まれ、その理由が分かるまでに、しばらく時間がかかりました。そこにあったのは、明るく、元気な、少しばかり賑やかな声に溢れた教室ではなく、子どもたちのささやき声、優しい語り掛けの姿、安堵の表情に満たされた温かな穏やかな空気でした。保育者と子どもたち、子どもたち同士の中に、安心して「依存」できる関わりがそこにある。こうした、身体をゆったり開いて、他者の声を聴く空間が、子どもたちのゆるやかな「自立」を育てていくのだと、その時に改めて気付かされた次第です。

経済財政運営と改革の基本方針 2017 が示され、私たちはより質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供に、力強く取り組んでいけることになりました。

そのために、それぞれの園における教育課程の編成、見直しに向けて、「私の園ならではの」「私のクラスだからこそ」新しい視点を加えていただきたいと思います。

「子どもが子どもらしく遊びくらし、自己実現する」ような教育・保育の時間を設定し取り組んでいくために、まず、幼児の「遊び」の教育的意義について全教職員が想いを語り合い、実践を通じた理論へのアプローチを試みるのも一つの方法です。文化創造、人間らしい生き方についての学び、遊びの徹底から生まれる「厳しいまじめさ」等のキーワード

にも是非ふれてほしいと思います。

教育課程に設けられた「遊び」の中で生まれる工夫や失敗、熱中、のめり込み等々は、子どもたちに思考や協働の機会を生み出し、その場は「子どもが自分と他人に出会う地平」となります。協働して遊びに没頭する中で、子どもたちは知恵を共有し、互いの信頼や敬愛を深めていくのです。

また一方で、子どもたちのこうした姿や園の風景を、保護者や地域の人々に開いていく場づくりも重要になってきます。「我が子」だけを見つめる目から、園全体、社会全体の教育を意識する「公共的な意識」を持つ目への変容を求めていくことは、「社会に開かれた教育課程の実現」につながっていくはずですよ。

もとより、教育課程の編成・実施の中核的な役割を担うのは、まぎれもなく保育者自身です。子どもたちの表情、空気の動き、声音を、敏感に、やわらかな感性を働かせて捉えながら、保育を進める。また、そういう視点から保育を振り返り、見直していくことの必要性に気付く。そして、異なった教育観を持った保育者たちの交流によって、互いに育ち合う関係が園の中に生まれていく。そのような土壌が育まれていくことを切に願っているところです。

幼稚園での教育は、常に、子どもを真ん中に、子どもの自発性や主体性と、保育者の意図・指導との調和の中で織りなされる営みでありたいと考えます。この幼稚園での学びを、家族や地域の人々との交わりや文化とのふれあいによる自己実現へと広げながら、育ちを見守りたいものです。

(山口県防府市・鞠生幼稚園)

## 平成 29 年度上半期決算報告・監査報告など

全日私幼連の団体長会・理事会合同会議が12月5日（火）、東京・私学会館において開催され、団体長会46名（定足数47名）、理事会61名（定足数63名）が出席しました。

初めに、議長に徳本達之理事（福井県）と内橋彰理事（長崎県）を選任、議事録署名人には森一男理事（愛媛県）と宮地彌典理事（高知県）が選任されました。

■審議案件. 平成30年度全日私幼連会費（案）について

平成30年度の全日私幼連の会費について田中辰実総務委員長より提案があり、質疑応答を経て全会一致で承認されました。

■報告案件 1. 平成29年度上半期決算・監査報告について

平成29年度上半期決算・監査報告について田中辰実総務委員長より平成29年度上半期決算の報告があり、伊藤夏夫監事より監査報告がありました。

■行政報告

文部科学省初等中等教育局幼児教育課長先崎卓歩氏より行政報告があり、幼児教育無償化や2歳児受入れ等についての最新情報をお話いただきました。

■協議案件 1. 幼児教育の無償化について

■協議案件 2. 2歳児の受入れについて

初めに香川敬会長より、全日私幼連として一致した方向性を話し合い、まとめていくことの重要性についてお話がありました。その後、いくつかの意見が出され、今後も引き続き重要案件として協議していくことを確認しました。

■報告案件 2. 会務運営報告について

各委員会委員長より次の通り会務報告がなされました。【総務委員会】①平成29年度上半期の決算



状況報告及び確認②災害見舞金（福岡）の支給報告  
③ J K 保険の次年度の改定に向けた方向性について  
④平成30年度全日私幼連会費徴収について【政策委員会】①大会・研修会の開催についての報告②子ども・子育て会議について【教育研修委員会】①平成29年度園長・リーダー研修会について②平成29年度全国研究研修担当者会議について③研修ハンドブックについて【経営研究委員会】①人材確保支援事業におけるアプリ「幼稚園ナビ」について②経営防衛マニュアルについて③第33回設置者・園長全国研修大会について④後継者育成研修会について【調査広報委員会】①P T A しんぶん、ホームページのキャッチコピーの改変について②P T A しんぶん11月号掲載「私の子育て」はなわさんへの取材について【102条園委員会】①102条園研究会の開催について②個人立幼稚園における『子ども・子育て支援新制度』の移行に関する要望について③平成29年度分青色申告について④委員会の開催について【認定こども園委員会】①認定こども園委員会の開催について②第33回設置者・園長全国研修大会における研究講座について③認定こども園研修会について【こどもがまんなかP R O J E C T 企画推進会議】①こどもがまんなかP R O J E C T 打合

せ会の開催について②こどもがまんなかPROJECTアワードの開催について③映像コンテンツの作成について④「子育て住まい読本」、「ランドセル読本」の配布について【政令指定都市特別委員会】①政令指定都市特別委員会の開催について②政令指定都市特別委員会研修会の開催について

最後に「その他」として総務委員長より今後の会議日程について告知があり、閉会しました。

(調査広報編集委員・前田 幹)

### ● (公財) 全日私幼研究機構報告会

団体長会・理事会合同会議に引き続き、(公財)全日私幼研究機構からの報告会が行われました。

初めに、加藤篤彦研究研修委員会副委員長より処遇改善Ⅱと機構における研修の位置づけについて、そして研修俯瞰図と研修ハンドブックについての説明がありました。

次に、宮下友美恵研究研修委員会委員長よりECEQ(公開保育を活用した幼児教育の質向上システム)についての説明がありました。

最後に、安家周一全日私幼研究機構副理事長より3歳未満児の発達と保育についての説明があり、会は終了しました。

まさかのときの“JK保険”

## 全日本私立幼稚園 連合会の保険

JK保険は、全日私幼連が指定した損害保険会社の協力を得て、加盟園のために開発した制度です。団体契約となっておりますので、団体割引・優良割引が適用されており、個々にご加入される場合より割安となっております。本年も4月1日に向けて募集が開始されておりますので加入のご検討をお願い申し上げます。

本保険制度に関するご案内は全日本私立幼稚園連合会HP(<https://youchien.com>)または私幼時報3月号に掲載いたしますのでご覧ください。

保育力の向上のために

資質向上の取組の証明に

積極的に研修に参加し、その履歴を研修ハンドブックに記録しておきましょう。

**監修** 公益財団法人 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

## 新版 研修ハンドブック

4103501 **756**円(本体700円)

- B6判
- 120ページ
- ビニールカバー入り

ご用命はお近くの書店、またはワンダー販売会社まで。

株式会社 世界文化社 ワンダー事業本部  
TEL03-3262-5128



## 平成 29 年度 認定こども園「教育・保育 質の向上」全国研修会 ～新制度移行園の実状を知る～

11月21日、東京・私学会館において、平成29年度認定こども園「教育・保育 質の向上」全国研修会～新制度移行園の実状を知る～が開催され、昨年に引き続き、内閣府・文部科学省・厚生労働省の後援のもと、全国より約240名の先生方が参加され盛大に開催されました。

研修①：「子ども・子育て支援新制度の今後の方向性について」（2歳児の受入れ、処遇改善、幼児教育無償化など）をテーマに、文部科学省初等中等教育局幼児教育課専門官大野雅史氏より、1. 幼稚園を巡る基礎データ 2. 私立幼稚園の新制度への移行状況 3. 子育て安心プラン（2歳児等の受入れ） 4. 人材確保支援・処遇改善（1）全体像（2）私学助成の処遇改善（3）新制度の処遇改善①概要②追加的な処遇改善の詳細 5. 幼児教育無償化 6. その他、平成30年度予算概算要求、経営実態調査（新制度）について説明されました。

今回特に4（2）私学助成の処遇改善、（3）新制度の処遇改善について執行面の留意事項や追加的な処遇改善における研修スキームのイメージを使い、どのように処遇改善を配分したらよいのかを具体的にわかりやすく説明いただきました。幼稚園としては全日私幼連や各都道府県の教育センター等で行われている研修、教員免許更新講習など過去に受けた研修が認められることとなり、キャリアアップのために特別な研修受講の必要性は少ないとのことでした。各都道府県私幼団体では過去の研修受講証明等が必要になることが予想されます。各園・各団体で今年度中に対応を考えておくとよいと思います。

研修②：「平成30年度の幼稚園教育要領改訂にともなう認定こども園としての学び」を内閣府子ども・子育て本部（認定こども園担当）参事官安田伸氏より、認定こども園4類型と適用される教育保育内容に関わる基準について法律上の違いと共通点について、幼保連携型認定こども園の教育・保育

要領について関係法令とこれまでの経緯、改訂のあらまし（要点）、具体的内容について、総則、ねらい及び内容並びに配慮事項の改訂、健康及び安全の改訂、子育て支援の改訂の順に説明されました。

各要領等で重視していることは、幼児教育の基本は「環境を通して行う」こと、「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力の基礎」「学びに向かう力、人間性等」の資質能力を一体的に育むこと、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）を意識することと小学校との接続をより円滑化していくことであると解説されました。

研修③：「パネルディスカッション・新制度移行にともなう各地区の情報提供」パネリスト：認定こども園委員会副委員長・森迫建博、濱川喜巨、認定こども園委員会委員・岸 豊、富川 将、栗原充常、長岡龍男、安本照正、専門委員・角谷正雄、小島 聖、コーディネーター：認定こども園委員会委員長・橋本幸雄。橋本委員長の挨拶の後、各地の新制度への取り組みについて大きな差があること、都会と田舎、各都道府県でも都市部と田舎の差が大きいこと、各自治体特に市区町村の対応で大きな差が生まれている現状が報告されました。

また、保育ニーズの将来展望から考える将来予想、ニュージーランドの例を基に「ワークライフバランス」の大切さ、「幼児教育の質の向上」に向けて「幼児教育ビジョン」の必要性について提案がなされました。

その後、交流会が和やかに催され「幼児教育の質の向上」と「幼児教育の質の向上とは相容れない保育無償化」について語り合う場面が多くありました。参加者は、幼児教育の重要性を再認識され閉会となりました。

（認定こども園委員会専門委員、新潟県南魚沼市・幼保連携型認定こども園金城幼稚園・保育園／角谷正雄）

# 「幼稚園ナビ」スタートしました!!

- 設置者の皆様へ幼稚園ナビ導入セットを10月中旬にお届けしております。(A4封筒:右図)  
※利用アカウント情報が記載されてますので紛失厳禁です!
- 簡易マニュアルに沿って幼稚園情報の登録と求人募集の登録をお願いします。
- 研修申込みや免許管理など職員の方も普段使い出来るサイトです!



## 幼稚園ナビとは?

幼稚園ナビは、全日本私立幼稚園連合会が開発を進めている教員免許取得者の人材確保を目的とした幼稚園に関する求人・イベント情報・お役立ち情報を掲載した幼稚園に特化した全国版総合情報ナビサイトです。



## 幼稚園ナビの特徴

イベント・求人情報を  
無料掲載! 1

求人情報の  
簡単登録機能! 2

職員の研修・免許  
管理機能搭載! 3

求人票PDFの  
自動作成機能 4

ハローワーク求人と  
自動連携! 5

自園の魅力を学生に  
発信! 6

詳しくはWebサイトをご覧ください

<https://navi.youchien.com/>



お問い合わせ

幼稚園ナビ サポート事務局  
担当: 岩崎

☎ 093-647-7330  
✉ support@navi.youchien.com

## 平成 30 年度 幼稚園関係予算案の概要について

### 1. 幼稚園就園奨励費補助等 330 億円

＜参考＞これまでの子ども・子育て支援新制度移行分等を含めた場合 458 億円

- ◆市町村民税所得割課税額 77,100 円以下世帯（第 3 階層）の保護者負担の軽減  
平成 29 年度の保護者負担の軽減の 2 倍となる大幅な軽減を実現。
- ・第 1 子：年額 168,800 円から 120,800 円に軽減（年額 48,000 円（月額 4,000 円）の軽減）
- ・第 2 子：年額 85,000 円から 61,000 円に軽減（年額 24,000 円（月額 2,000 円）の軽減）

（参考：平成 29 年度 of 取組）

- 市町村民税所得割課税額 77,100 円以下世帯（第 3 階層）の保護者負担の軽減
- ・第 1 子：年額 192,800 円から 168,800 円に軽減（年額 24,000 円（月額 2,000 円）の軽減）
- ・第 2 子：年額 97,000 円から 85,000 円に軽減（年額 12,000 円（月額 1,000 円）の軽減）

幼児教育の無償化は、政府の方針として 2019 年 4 月から一部実施、2020 年 4 月から全面的に実施することになってはいますが、本連合会が平成 30 年度においても段階的拡大が必須であると強く要望した結果、平成 30 年度予算案については、就園奨励費関係予算は、昨年度の約 2 倍の 21 億円増で 330 億円となり、更に幼児教育無償化が拡大することとなりました。

具体的には、市町村民税所得割課税額 77,100 円以下世帯（第 3 階層）の保護者負担の大幅な軽減として、第 1 子が年額 168,800 円から 120,800 円に軽減、第 2 子が年額 85,000 円から 61,000 円に大幅に軽減されました。これらの措置により、約 14 万人の園児の保護者の負担が軽減されます。

### 2. 私立高等学校等経常費助成費補助金（幼稚園分）291 億円

#### ◆一般補助＜182 億円＞

- 園児 1 人あたり単価：23,688 円（235 円増／1.0%増）
- 幼稚園教員の人材確保の取組に対する支援を引き続き新たに実施

#### ◆特別補助＜109 億円＞

- 幼稚園等特別支援教育経費＜62 億円＞
- 預かり保育推進事業＜36 億円＞
- 幼稚園の子育て支援活動の推進＜11 億円＞

私学助成については、厳しい財政状況にも関わらず、園児一人当たり単価 1.0% 増を確保するとともに、特別な支援が必要な幼児の受入れや長期休業日等の預かり保育に対する支援の充実が図られました。

3. 幼児教育の環境整備の充実 39億円

<別途>平成29年度補正予算175億円

◆認定こども園等への財政支援<33億円>

※別途29年度補正予算にて165億円

認定こども園の設置・促進を図るため、認定こども園の施設整備・園舎の耐震化・防犯対策に要する経費の一部を補助するとともに、幼稚園教諭免許と保育士資格の併有促進や、研修等の実施費用、園務改善のためのICT化を支援する。

- ①認定こども園施設整備交付金 22億円
- ②教育支援体制整備事業費交付金 11億円

◆私立幼稚園の施設整備の充実 <5億円>

※別途29年度補正予算にて10億円

緊急の課題となっている耐震化に取り組むとともに、学校法人立幼稚園等の施設のアスベスト対策・防犯対策、エコ改修等に要する経費の一部を補助することにより幼稚園の環境整備を図る。

幼児教育の環境整備の関連予算として、認定こども園への移行に伴う施設整備等のための認定こども園施設整備交付金については、平成29年度補正予算とあわせて、約188億円計上されています。また、安心こども基金<sup>\*</sup>も延長となり、交付金とあわせて約240億円の予算が確保されています。(平成29年度においては、当初予算、補正予算とあわせて115億円を確保していた。)

※基金の延長が認められ、平成30年度においては基金残額の約50億の活用が見込まれる。

緊急の課題となっている耐震化やエコ改修等のための私立幼稚園施設整備費については、平成29年度補正予算とあわせて、計15億円計上されています。



ポットは毎月CD-ROM付き!

チャイルドブックの月刊保育雑誌

キッズ保育応援マガジン



価格 本体1,000円+税

好評発売中!

チャイルド本社

保育に役立つ  
アイデア満載!

行事

遊び

食育

0・1・2歳児

〒112-8512 東京都文京区小石川5-24-21  
TEL 03-3813-2141 FAX 03-3814-3392  
<http://www.childbook.co.jp/pot/>

#### 4. 幼児教育の質の向上 2.8億円

##### ◆幼稚園における2歳児の円滑な受入れのための調査研究＜0.2億円＞【新規】

幼稚園等における2歳児の円滑な受入方法等についての調査研究を行い、2歳児から3歳児への切れ目ない対応（幼稚園接続保育）の実施を推進するとともに、幼稚園等における待機児童解消に向けた取組を推進する。

##### ◆幼稚園の人材確保のための取組の推進＜0.7億円＞

幼稚園における優秀な人材の安定的な確保を図るため、離職防止のための研修や働きやすい環境の整備、離職者の再就職促進のためのマッチング制度の構築など、各地域における先導的な人材確保策を支援し有効な方法を検証・普及する。

##### ◆幼児教育の推進体制構築事業＜1.4億円＞

地域の幼児教育の質の向上を図るため、地域の幼児教育の拠点となる幼児教育センターの設置や、幼稚園・保育所・認定こども園等を巡回して指導助言等を行う「幼児教育アドバイザー」の育成・配置など、自治体における幼児教育の推進体制の検討・整備を行う。

##### ◆幼児期の教育内容等深化・充実調査研究＜0.1億円＞

効果的な指導方法や実効性のある学校評価など、幼児期における教育内容等について、より深化・充実するための調査研究を実施する。

##### ◆幼稚園教育要領の普及・啓発＜0.3億円＞

新幼稚園教育要領に基づく教育活動が着実に実践されるよう、協議会の開催や指導資料の作成を行う。

##### ◆ECEC Network 事業の参画＜0.1億円＞

OECDにおいて計画されている国際幼児教育・保育従事者調査等に参加し、幼児教育の質の向上を図るための政策立案に資するデータを収集する。

幼児教育の質の向上の関連予算としては、「幼稚園における2歳児の円滑な受入れのための調査研究」を新規に立ち上げることになりました。

また、待機児童対策などに伴う保育の量的拡大により、保育士不足など子ども・子育て支援関係の人材に対する需要が増加している中、私立幼稚園においても優れた幼稚園教員の確保に困難を来す事例が生じるなど、人材確保が大きな課題になっています。広域での人材登録や求職者紹介等のマッチング制度の構築、離職防止対策や再就職支援などの人材確保に向けた先導的な取組について、幼稚園関係団体等に委託し、有効な方法を検証する事業も引き続き実施されます。なお、本連合会においては、平成29年度予算を活用し、人材確保支援アプリ「幼稚園ナビ」を開発運用中です。

## 5. 子ども・子育て支援新制度関係予算案（私立幼稚園に関する事項抜粋）

### ◆一時預かり事業＜幼稚園型＞

- ・2歳児の受入れ（幼稚園接続保育）の補助制度創設  
一時預かり事業（幼稚園型）において、幼稚園で保育を必要とする2歳児（3号認定）を定期的に預かる場合の補助制度を創設。
- ・長時間加算の単価増、事務負担加算の創設  
長時間の預かり（8h超）に対する加算を1.5倍に増額。  
【9h：100円⇒150円、10h：200円⇒300円、11h：300円⇒450円】  
また、事務負担に対応するための加算を創設。長時間・長期休業中の預かりなどを行う施設を対象に年額138万円を補助。

### ◆国家公務員給与の改定に伴う待遇改善（幼稚園教諭 1.1%）

※平成29年度に遡及して適用

一時預かり事業（幼稚園型）において、幼稚園で保育を必要とする2歳児（3号認定）を定期的に預かる場合の補助制度を創設するとともに、長時間預かりに対する補助の充実が図られました。3号認定以外の子供への支援のあり方や改修費については今後の検討課題とされました。

また、懸念されていた新制度の公定価格については、経営実態調査結果を踏まえた引下げは行わない一方で、人事院勧告を踏まえた待遇改善（+1.1%）は着実に実施することが決まり、給付水準の維持・向上が図られています。

平成30年度予算については、加盟園のご支援・ご協力をいただきながら香川会長を先頭に強力かつ懸命に折衝活動を続けた結果、厳しい財政状況にもかかわらず、大幅な増額となるこのような幼稚園関係予算を獲得することができました。

参考資料として、全日私幼連ホームページに

#### ①平成30年度幼稚園関係予算

(<https://youchien.com/info/news/tfpkv1000000142s-att/youchien30.pdf>)

#### ②平成30年度子ども・子育て支援新制度に関する予算

(<https://youchien.com/info/news/tfpkv1000000142s-att/shinnseido30.pdf>)

を掲載しております。そちらも併せてご覧ください。

# 日本私立学校振興・共済事業団からのお知らせ

## 表紙写真・園紹介記事を募集しています



### 表紙写真

春季は入園式、遠足、夏季はプール開き、お祭りなど、四季折々の季節感ある学園風景の写真を募集しています。

### 連載「魅力あふれる学校づくりを目指して」

幼稚園での施設整備に関すること、園児の体力づくりや情操を育む日々の取り組みなど、様々な事例を紹介してみませんか。

#### 過去の掲載

##### 【表紙】

◆平成 29 年 1 月号 (VOL.229) / ワタナベ学園

##### 【表紙および記事】

◆平成 29 年 7 月号 (VOL.235) / 第一学園

理念の明確化・見える化により、関係者全員が納得し、協力し、育ち合える学園を目指して

〒102-8145 東京都千代田区富士見 1-10-12

企画室 ☎ 03 (3230) 7809~7811 ✉ kikaku@shigaku.go.jp

### 「しーちゃんと学君のちょっと学校訪問」

特色のある園づくりの様子や、園児が生き生きと学んでいる様子取材させてください。

園の伝統行事や音楽・スポーツ活動、地域活動への参加など、「レター」で紹介してみませんか。事業団職員が取材にお伺いします。

#### 過去の掲載

- ◆平成 26 年 7 月号 (VOL.98)  
「ありがとう」の心を伝えるカレーパーティー (東松幼稚園)
- ◆平成 27 年 11 月号 (VOL.106)  
たくさんの愛に包まれたクリスマスページェント (武庫川幼稚園)
- ◆平成 29 年 1 月号 (VOL.113)  
本物に触れ、五感をひらく干潟観察 (なぎさ公園小学校)
- ◆平成 30 年 3 月号 (VOL.120) (予定)  
地域密着!「客車劇場」(富士見幼稚園)



〒113-8441 東京都文京区湯島 1-7-5

広報相談センター 広報班 ☎ 03 (3813) 5321 (代表)

私幼時報では、平成 29 年 9 月号から平成 30 年 3 月号の 7 回にわたり、平成 29 年 3 月 12 日に開催された 2016 年度・発達保育実践政策学センター (Cedep) の公開シンポジウム「乳幼児期からの縦断研究：幸せな人生のために何が必要か」の内容を報告します。今号と次号の 2 回で、イングリット＝ション博士、ベルナルド＝カリッキ博士、無藤隆教授 (白梅学園大学)、秋田喜代美 Cedep センター長 (東京大学大学院)、遠藤利彦 Cedep 副センター長 (東京大学大学院) のパネル討論について報告します。なおこの報告は便宜上一人称で書きますが、全て引用という訳ではなく、一部平林祥先生 (大阪・ひかり幼稚園) が加筆・修正をしておりますことをご了承ください。

## 乳幼児期からの縦断研究：幸せな人生のために何が必要か

### パネル討論概要

#### パネル討論① 無藤隆先生

##### 【日本の幼児教育の特徴】

今日の話の流れに乗せて日本の事情を見ると、3 つの特徴があると思います。1 つは、おふたりが講演されたようなしっかりとしたエビデンスの蓄積がないことです。それを特徴と言えるか分かりませんが、事実としてそうなので、発達保育実践政策学センター (Cedep) が頑張るわけです。2 つ目の特徴は、エビデンスの蓄積がない代わりに、我々は国際的なエビデンスの集積についてしっかり学び、影響を受けていることです。3 つ目の特徴としては、日本は研究ベースでは確かに弱いですが、実践ベースでは強いと信じています。日本の幼稚園教

育の歴史は 140 年、保育所の歴史は 110 年です。その十分な蓄積と欧米から学んだ部分とを接合する努力をしています。

##### 【ガイドラインの改訂 / 改定】

日本の幼児教育の施設には、幼稚園と保育所、認定こども園の 3 種類があります。現在、日本では幼稚園と保育所、認定こども園のガイドラインを改訂 / 改定している最中で、2017 年 3 月に確定して、新しいガイドラインが動きだします。今回の改訂 / 改定の一番大きな特徴は、3 つの幼児教育施設で幼児教育の中身を共通のものにしたことです。これは日本の歴史では初めてのことです。



バス専用機不要！  
スマホで簡単バス運行管理！

**くるんとバス**  
-通園バス位置情報システム-

「くるんとバス」はスマートフォン・タブレットの GPS 機能を活用したシステムで、バスの運行情報や到着メール・ルート作成等を提供するクラウド型サービスです。



**いつもNAVI**  
「いつも NAVI 動態管理サービス for 送迎バス(くるんとバス)」は、株式会社ゼンリンデータコム登録商標です。

株式会社 **チャイルド社** インターネット課  
TEL.03-5370-7497 〒167-0052 東京都杉並区南荻窪4-37-15  
ホームページアドレス <http://www.child.co.jp/>

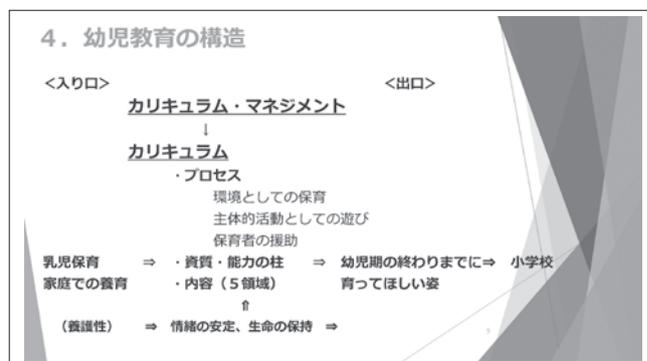
## 【幼児教育と小学校教育とをつなぐ [姿]】

また、幼児教育と小学校教育とをコンピテンズベースで強固につなぎました。コンピテンズは日本語では資質・能力と呼んでいて、簡単にいえば、知的な能力と情意的な能力の2種類に分かれます。知的な能力は、知識と思考力に分かれますので、結果的には3つの力でつながります。今回、情動的（情動的、社会的）なコンピテンズを極めて強調したのは、もちろん欧米の研究に学んだからです。

幼児教育と小学校教育をつなぐものがコンピタンズだけではあまりに抽象的ですので、それを具体化する必要があります。我々が取った方略は、小学校に入る直前の子どもの姿を10個取りだし、それを幼児期の終わりまでに指導していく、そして同時に小学校教育の始まりとすることでした。その10個は、これまでの日本の幼児教育の実践から選んできましたが、これには2つの特徴があります。1つは、10個選んだものを「姿」と呼んでいることです。コンピテンズベースであり、スキルベースでもある、両方を踏まえた「姿ベース」であります。コンピテンズやスキルを基にしなが、色々な活動において共通に現れてくる子どもの「姿」を中心にするということは、実践者に見えるものであり、実践者が扱えるという意味を持ちます。これは、私どもが誇るべき日本の保育の特徴です。もう1つの特徴は、10個の姿の中に、ショーン先生が紹介された

主要なスキルが盛り込まれていることです。例えば運動面は「①健康な心と体」に、自己統制などは「②自立心」と「④道徳性・規範意識の芽生え」に、考える力は「⑥思考力の芽生え」に入っています。いわゆる認知的な力と情動的な力の両方が書き込まれており、認知的な力の中にも言葉や数、考える力とともに自己統制力や実行機能と呼ばれているものを意識して盛り込んでいます。

## 【幼児教育の構造化】



今回の改訂 / 改定の特徴は、保育所も幼稚園も認定こども園も幼児教育を構造的にしたことです。

【プロセス】では、子どもの遊びを中心とした保育の在り方、子どもを取り囲む身近な環境が教材であること、専門家としての保育者が援助するという構造を示しました。では何を指導するかという【内容（5領域）】と【資質・能力】を示し、それが乳

## (株)学研教育みらい

東京都品川区西五反田2-11-8  
幼児教育事業部

お問い合わせは  
フリーダイヤル 0120-833-415

### 園ぴゅう太のメールサービス



#### らくらくメール

園から保護者へらくらくメール送信！  
組別・個別送信、既読確認もできます。  
サーバー二重化で、いざという時も安心です。



#### らくらくバスメール

スマートフォンでバスメールを送信！  
大きなボタン表示で画面操作もらくらく。  
タップするだけでメール送信できます。

ぜ〜んぶ学研に  
おまかせ!!

心機一転！  
リニューアル

オリジナル！  
キャラクター  
ロゴ

Flashで  
動画！

### らくらくホームページ

目的やご要望に合わせて作成し、学研が更新もお電話・FAXで対応します。  
「お知らせ更新は園で…」というご要望にもシステム併用でご対応いたします。

児期から幼児期、小学校、中学校と続くわけです。具体的なつなぎ目のところに【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】という活動の具体的な在り方を示して実践的な方向にしました。さらに、乳児保育との関係の中で養護性を【情緒の安定、生命の保持】として取りだし、一番基盤となるところで家庭との連携につながります。また、全体としてカリキュラム、そして、そのカリキュラムの検討部分を持つという構成を作りました。それが加わったことによって、全体の構造が明確になったことが見えますと思います。

### 【日本の保育制度改革】

もう一点は、平成 27 年度から 2 年間、それ以前の予算に新しく加わった 7,000 億円に、さらに保育者の給与改善分が入り 8,000 億円が幼児教育・保育に投入されます。それをどこに使ったかというところ、カリッキ先生の分類でいうと「構造的条件」の改善です。構造的条件を改善するための「前提条件」も直していかなければいけません。

例えば、1～2 歳児の保育を量的に拡充させるだけでなく、質的な充実にあわせてお金をつぎ込んでいて、保育者 1 人当たりの子どもの数を減らすことを始めています。うまくいけばあと 2 年ぐらいでもう少し減らしていくことができます。

それから、民間の保育者の待遇を改善しました。

全国調査によると 5 年間で平均 20% 近く上がりました。マスコミは安いと言いますが、努力はしています。来年度以降は、さらに経験のある保育者に対して最大年間 48 万円、月当たり 4 万円まで給与が増額されます。厚生労働省の計算によると、この対象となるのは保育士の 1/3 ぐらいだそうです。これには幼稚園も認定こども園も入ります。来年度は取りあえず出しますけれども、何年か経ってからは研修にひも付けたいです。研修にひも付くというのは、色々な定められた研修を受けてポイントをためるともらえる、ということです。それによって、研修を確実に受けるインセンティブをつくり、研修の量を増やし、質を上げていくことです。

同時に、民間の幼稚園や保育所に勤務される方の経験年数を上げていきたいです。かなり多くの方が 2-3 年で辞めることを改善していくことが、結果的に保育の質を上げていくことになるだろうと考えています。

もう一つは、短大や大学の養成校の質の改善がこの 4 月からスタートして、様々な試みをしていきます。その中核は、養成校の養成課程のカリキュラムをより強いものにしていくとともに、養成課程の教員の研修の義務付けに向けて取り組むことです。

最初に申し上げたように、お二人のお話のようなしっかりとしたデータを我々は残念ながら、ほとんど持っていませんが、改革の方向としてはヨーロッパの改革・データに大いに学びながら、何とか頑張っ

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に準じた指導計画

# 月刊 保育とカリキュラム

毎月 2 日 発売



ひかりのくに株式会社

本社/〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2-14 TEL.06-6768-1151代表  
支社/〒175-0082 東京都板橋区高島平6-1-1 TEL.03-3979-3111代表

てここまでできたというご報告をしました。以上です。

## パネル討論② 遠藤利彦先生

私は自分の専門である発達心理学の観点から、お二人の先生の縦断研究のお話に、思うところを付け加えられればと思います。

### 【発達心理学から生涯発達心理学へ】

かつて発達心理学は、児童心理学とほとんど同じ意味で使われていました。しかし、世界的に発達心理学が生涯発達心理学に変貌してきています。日本では特に1980年以降、生涯発達心理学への移行が急速に進んできたと考えられます。その移行の際に非常に重要な意味を持った理論的学風は、ドイツのマックス・プランク研究所の元・生涯発達心理学ディレクター、バルテス先生の生涯発達心理学で、その枠組みの中で日本の生涯発達心理学は整備され、研究が行われてきました。

バルテス先生の生涯発達心理学の定義は、大きくまとめると『生涯にわたる個人の中の変化・連続性』です。人の生涯にわたって、変わるもの、変わらないものは何かということ把握し、記述し、説明して、場合によっては修正していく、ということです。生涯発達心理学の重要な役割は三つあり、一つは個人内の変化・連続性のパターンを把握すること、そのパターンの個人差がどのようなかたちで存在しているかを明らかにすること、もう一つは分かったことを発達の軌道修正や最適化につなげることです。

### 【生涯発達心理学と縦断研究】

人間の生涯の中で変わるもの、変わらないものは何かを明らかにする研究、これはとりもなおさず縦断研究のことです。しかし残念ながら、日本では仮説がしっかり成り立ち、確実に成果が上がる【サーチライト型研究】に資金などの援助が集まり、どんな結果が出るか分からない、地道で泥臭い【バケツ型研究】にはなかなかお金をかけてもらえない結果、

縦断研究が非常に少ないという現状があります。

世界には、様々な目的を持った縦断研究があります。今日取り上げられたのは、一般的な(定型発達の)お子さんを対象にした縦断研究でしたが、一方で非定型のお子さん、例えば非常に劣悪な環境の中で生まれ育ったお子さんや貧困層のお子さんを対象にした縦断研究があります。さらには、それに対する介入効果を見た研究なども、世界全体ではすでに相当数行われています。そして、その知見の蓄積には非常に教えられるものがたくさん含まれています。

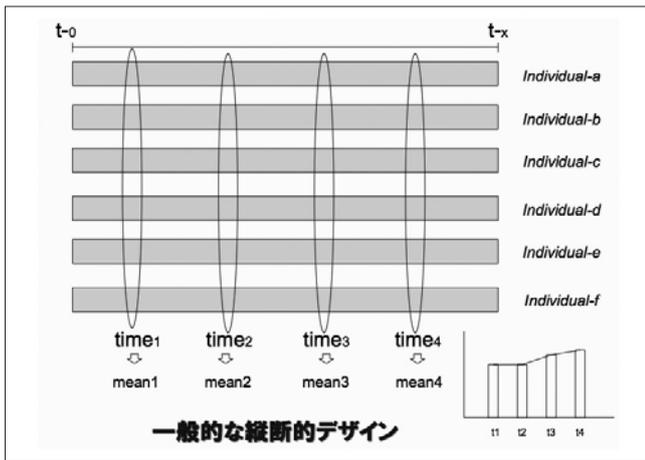
### 【日本の縦断研究】

日本では、例えばお茶の水女子大学の菅原ますみ先生が中心となり進めている「川崎プロジェクト」は、1985-1986年に妊婦だった人が子どもを産んで、その子がどう育っているかを調べています。特に約300世帯に関しては、20年以上データの収集が続けられており、幼児期の家庭環境や子どもの気質が、思春期あるいは成人になってからの問題行動にどのような影響を及ぼすなどが明らかにされています。他にも、ベネッセが進めている3-7歳の幼児を対象にした、特に「家庭教育に関わる縦断研究」や、慶應義塾大学が進めている6-15歳の「子どもパネル調査」、JST(国立研究開発法人 科学技術振興機構)が大阪・三重中心の乳児コホートと鳥取の幼児コホートの二つを縦断的に追跡している「すくすくコホート縦断調査」があります。あるいは、筑波大学の安梅勅江先生が中心となり進められている「保育に関わる縦断研究」、さらに子どもたちのメディアへの接触と知的・感情的な発達の間関係を調べている10年以上にわたる研究があります。環境省が主導的に行っている通称「エコチル調査」は10万人の子どものサンプルがあり、比較的最近行われている日本の研究では最も分厚いデータが取られています。そのうち5,000人に関しては、妊娠期の生育環境や子どもの健康状態・病歴など色々なデータが収集されています。それから、かつては厚生労働省が、今は文部科学省が主導的に進めている「21世紀出生児縦断調査」では、いまだに約23,000人

の子どものデータを取っています。

このように、日本でも縦断研究は一応あるのですが、規模や年数、研究設計などの観点から体系的にデザインされた研究は、いまだかつてわが国では行われていないというのが現状だと思います。

### 【従来の研究方法：「一つの標準」に収束させる】



縦断研究でのデータの取り方として、複数の人間をターゲットにして自己統制という指標を調べていくとき、例えば5歳の段階での個々人のスコア、10歳の段階での個々人のスコア、というデータが収集されていきます。そして、自己統制スコアの5歳の平均値、10歳の平均値、15歳の平均値を結んで、これを「標準的な発達」とわれわれは考えるのです。例えば、自己統制は年齢が上がるにつれて上昇的な変化を示していく、というこれはこれで重要な知見になるわけです。

データのもう一つの使い方としては、例えば5歳時点の自己統制が、20歳時点の高等教育における学業達成とどのように関連しているかというメカニズムを、一般的には相関係数を割り出した上で推定します。一般的にそのようなかたちで、縦断的データというのは整理され、分析結果が提示されます。

### 【複数の「定型」を見出す研究へ】

しかし、個々人に着目していくと、実は一般的な発達とは全く異なる発達経路をたどる個人もいるわ

けです。例えば、幼少期は非常に恵まれない家庭の中で育っていた子どもが大人になってからは非常に経済的に安定していたり、あるいは、幼少期の自己統制が必ずしも高くなかった子どもが大人になったときに高いウェルビーイングを達成している、ということも当然あるわけです。

平均値を結んでいったり、ある時点とある時点の要因の相関を見る分析に終始してしまうと、それ以外の発達経路が軽視されることとなります。実践的に見ると、そうした発達経路を知ることは重要な意味があると思います。幼少期に恵まれていなくても、大人になってから幸せを手にした人は、どのような発達経路を辿ったのか、縦断研究の中でしっかり分析されていくことが重要だと思います。つまり、全世界的にこれから考えなければいけないことは、一つの標準を明らかにするのではなくて、複数の「定型」を見出すことではないかと考えています。

### 【発達をモディファイ（軌道修正・最適化）する研究】

縦断研究から色々なエビデンスが上がってきて、それぞれの幼児教育や保育の現場で、エビデンスを応用していくことが当然あるわけです。ただ、エビデンスと実践に橋をかけることは非常に難しいことです。例えば、現場と理論の世界では使用言語が違ったり、目標設定が違ったり、何をエビデンスと見るかということ自体に関する期待が違ったりします。あるいは研究の中では、例えば自己統制が将来的な学業達成を予測するというように、変数レベルで議論されますが、実際に保育者が目の前にいるまさに全人的な一人の子どもを相手にするような具体的な文脈に置いたときに、ではそのエビデンスをどう応用すればいいかというのは、全く違う話になってきます。その観点から一つ言わなければいけないことは、「エビデンスをどう応用するかということ自体が、研究されなければいけない」ということです。

そんなことを発達心理学という観点から考えた次第です。ありがとうございました。

(大阪府・ひかり幼稚園／平林祥)

## 五歳児研究 卒園制作 創作劇作り～青さん劇(青劇)～を通しての学び

こどもの森幼稚園 主任 宮崎 温  
上越教育大学大学院 准教授 山口 美和

### 1. 研究の背景と目的

本園は長野市飯綱高原標高1,050mに位置する森のようちえんである。

本研究は、本園の文化として定着している創作劇「青さん劇(青劇)」づくりにおける、年長児の主体的な学びのプロセスを記述するとともに、保育者の援助のあり方を考察することを目的とする。年長児は、卒園を前に、保護者や、年中・年少児、先生方への感謝の気持ちを込めて、3年間の園生活で学んだこと、感じてきた事を生かし、クラスみんなで協力して劇制作をやり遂げる。その過程の中で子ども達一人ひとりが課題をどのように乗り越えていくのかを、考察することとした。

### 2. 研究の方法

#### (1) 調査時期

2016年1月～2016年3月

#### (2) 調査方法及び対象クラスの概要

年長児(青さん)クラス(23名、保育者2名)を対象として、劇を創作していく過程の子どもたちの様子を観察し、エピソード記述法を用いて記述するとともに、活動記録や写真、動画映像の収集を行った。

### 3. 創作劇作りの実際

#### (1) 保育者のねらいと思い

・劇作りを通して、子どもが主体的になれる活動展開にし、一人ひとりの個性を大切に子ども達を伸ばしてあげたい。みんなで「青さん劇」というすごいものを作れたことに達成感を持ち、自信を持って卒園してほしい。

・劇中では今まで出来なかった困難なことに挑戦することで、失敗してもいいから「やってみよう」と思えたことを大切にしたい。

・子どもたちだけでは作れなかったり、達成できないことについては保育者も共に考え、きっかけを与えていく。

#### (2) 子どもたちへの投げかけ

「卒園を前に、何かひとつ、みんなですごいことを成し遂げよう」という保育者の思いを子ども達に伝えると、子どもたちの中から、昨年、年長児の創作劇を見たことを思いだす子が現れ、今年も劇を作って見せたいと

いう声が聞かれた。

本番は2回あり、年少さん年中さんとのお別れ会に1回目の上演をし、卒園式の日にお父さん、お母さんのために2回目の上演を行う。このため、30分以内で上演できることを目標に劇を制作することとした。1月下旬～3月までの約30日の保育日数のうち、行事等がない日に、毎日30分～1時間ほど制作を行っていくこととなった。

#### (3) 劇中で演じたい役を尋ねる

子ども達に自分が演じたい役(キャラクター以外のものと指定)を一人ずつ訊いていく。この時は鬼、カナヘビ、忍者、ウサギ、へび、チーター、葉っぱの妖精、お花の妖精、雪の結晶の妖精の役が出た。

また、自分の役を通して挑戦したいことについて尋ねると、縄跳びや側転、こま回して

色んな技に挑戦したいと答える子や、ピアノを弾きたい、フラフープを見せたい、踊りを作ってそれを見せたい、手遊びしたいなど、自分の得意なことを見せたいという子、とにかく何かを成功させたいなどの意見が出た。子どもたちが挑戦したいことも、お話の中に織り込んでいくこととした。

#### (4) 「お話のタネ」集めの相談

「何でもいいから、どんなお話にしたいか、お話のタネを出してみよう」と相談を開始する。子ども達とは計3回相談の時間を設けて色んな意見を出してもらった。

子どもたちとの相談では、保育者の入り方のバランスが難しく、「手をあげて意見を言ってください」と促

したが、ぼやきやつぶやきが意外といい意見であることも多かった。また積極的に意見を



出せる子はいいが、意見を出せない子への配慮も大事になってくる。盛り上がっているときはいいが、長時間の相談になると飽きてしまうことも課題であった。

#### (5) キーワードからあらすじを完成させる

相談の結果、子どもたちから以下のようなお話のタネ（キーワード）が出てきた。

- ・最後はみんな幸せになりたいらしい
- ・雪の妖精はお店屋さんをやっているらしい
- ・本当はやさしい鬼が怖い鬼になって何かをしちゃうらしい
- ・雪手裏剣というものがあるらしい
- ・雪が一杯になっちゃうらしい
- ・誰かが困っているのを治したいらしい
- ・一人ひとり挑戦したいことがあるらしい

これを元に保育者が、物語のあらすじを作っていた。

#### (6) 共に作る台本制作

子どもたちは性格も様々なので、保育者はその子が言えそうなセリフ量を考えつつ、みんなに出番がくるように振り分けをして、台本を制作していった。

アイディアが湧いてくる子には、セリフを考えてもらうこともあった。

劇中、音楽や踊りで登場したい子たちは、過去に経験したオペレッタの曲や知っている曲などを使い登場することとした。曲を決めるところまでは相談に乗り、動きや振り付けなどは子どもたちに全て任せた。

台本が完成するまでの間、子ども達は劇中に出す小道具や大道具を作ってもらおう。基本的には身近な素材を用意し、好きなように作ってもらったが、友達同士相談しながら仕上げていく姿があった。また並行して自分の挑戦したい事についても練習を進めた。

#### (7) 立ち稽古

子ども達には稽古を始める前に、誰のために、なんでやるのかを確認し、稽古を行っていった。セリフを言うときは「ゆっくり」「大きく」「はっきり」

と言うこと。待っているときはしゃべらない、ふざけない、ケンカしないと約束をする。ドキドキして恥ずかしい事もあるけど、恥ずかしそうにしているのが一番恥ずかしい。応援しているから、ちょっと頑張ってみよう。だって君たちはそれを乗り越えられるだけの力をもう持っているはずだから。こんなことを話してから立ち稽古を行っていった。立ち稽古は当初1時間以上かかっていた。稽古を重ねるごとに保育者がセリフを教えずとも子ども達同士で教えあったり、自分のセリフや出番を覚えてきたため、その時間は短くなり、間があかなくなっていき、次第に目標の30分以内で終わるようになっていった。

立ち稽古で集中した後は、子ども達も疲れるため、自由時間もしっかり確保し、その後は外で雪遊びを存分に楽しんでもらうようにし、メリハリのある活動を心がけた。



#### 4. 結果

失敗してもいいから精一杯楽しもう！と伝え1回目の本番を迎える。もちろん緊張する子もいたが、堂々とセリフを言えたり、楽しみながら表現出来る姿からは子ども達の自信を感じた。また劇を見た年中さん、年少さんにもお話の楽しさが伝わり、年長児を誉める姿があった。そして年長児への憧れを抱く。2回日本番は親へ劇を見せる。この日は一回目以上に張り切る姿があり、親からも認めてもらうことで、子ども達はさらに自信をつけ、小学校へ巣立っていった。

#### 5. 考察

子ども達は創作劇作りを通してみんなで一つの事に向かって話し合い、相手を認め、尊重する中でクラスの間人間関係を育てた。また個々の挑戦したいことを乗り越えていくことで、その子の自信になっていく。保育者との関係が深まり、やるときとやらない時のメリハリがついた。年長児とはいえどもまだ6歳。保育者と共に活動を盛り上げることが重要だと学んだ。





## 平成 30 年度のお申込みがはじまります

「私幼時報」を毎月手に取っていただいております先生方には、(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構の諸事業に対し、平素より格別のご理解を賜り感謝申し上げます。

本財団に設置されている調査広報委員会発行のPTAしんぶんは「子どものしあわせを願う親と先生のひろば」として大切な機関紙と位置づけ企画・編集作業を行っています。

今年度の6月号より、ロゴの刷新や、文字を読み易く大きくするなど、紙面のリニューアルを行い、より皆様に身近な機関紙となるべく日々邁進しております。

また、10月号からは「人生のスタートに良質な教育を」という新しいテーマで全保護者の皆様へお届けしましたが、これに対し、保護者の皆様からうれしいご感想の声を沢山お寄せいただきました。

「PTAしんぶん」は、(公財)全日私幼研究機構の賛助会員になっていただき、会員に対する機関紙という形で配布しております。幼稚園単位でのお申し込みとなり、年11回新聞が配布されます。

現在PTAしんぶんを採用いただいております園数は、全加盟園の24%です。このPTAしんぶんを来年度も継続して発行するのに伴い、継続の園はもちろん、新規のお申し込みも大歓迎です。ぜひ賛助会員としてのご入会をお願いいたします。

なお、PTAしんぶんを希望される幼稚園は、各都道府県私立幼稚園団体経由でのお申し込みになります。詳しくは、各幼稚園にお送りする案内をご覧ください。

(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 調査広報委員会



## 地域で愛される園になるためのサポートブック

園のリーダーのために

# 保育ナビ

管理職向け月刊誌

定価: 本体価格926円+税  
B5判 72ページ

### 2018年2月号の主な内容

- 大特集 新任保育者研修 園の保育力アップにつなげる!  
あこがれや期待感をもって保育の仕事をはじめたとはいえ、毎日がいっぱいいな新任保育者たち。定着率を高め、園の保育力を上げるため、園や各団体で、様々な形で行われている研修の形を紹介します。
- 人材育成のための 保育のキーワード解説 よく耳にするけれど、改めて意味を聞かれると言葉に詰まってしまうキーワード。今回は「PD(研修)」、「キャリアパス」を説明します。
- スピーチ道場 ~あなたの言葉で園をもっと輝かせよう!~ すてきなスピーチには「ストーリー」やユーモア、話し方の工夫があります。これらを心がけ、心に残るスピーチをしましょう。スピーチ事例は「年度末保護者会」です。



ISBN978-4-577-81419-2

702

本社: 〒113-8611 東京都文京区本駒込 6-14-9 <http://www.froebel-kan.co.jp>  
ご注文・定期購読のお申し込みは 03-5395-6608 保育事業部営業本部まで

キンダーブックの **フレール館**

## 幼児教育アドバイザーの 選任について

千葉県では平成 29 年度から「幼児教育アドバイザー」を、公立幼稚園関係者から 2 名、私立幼稚園関係者から 2 名の計 4 名で活動しています。この事業は「幼児教育の推進体制構築事業」という国からの委託事業の一環で設置されたものであり、この中で「調査研究実行協議会」という上部会議に私学側も加わっていました。

初めから私立幼稚園に門戸が開かれていた訳ではなく、平成 28 年度は公立学校関係者が 2 名配置されていました。そこで全千葉県私立幼稚園連合会が一丸となって、所轄官庁である県教育庁の担当者様と何回か会談を持ちました。

その会談では、「すべての子ども達に良質な教育」を実施するためにも、公私の垣根をできるだけ低くし、千葉県の幼児教育に向き合っていただきたい、との主張を致しました。そして、平成 29 年 2 月に県教育庁と会談を持ち、「どのような形なら私学の参加が可能なのか」という話し合いを行いました。その中で「ぜひとも、私立幼稚園よりアドバイザーを出させていただきたい。」旨をお伝えしました。

顧みれば、この会談で私立幼稚園からのアドバイザー起用が実現した感があります。この後、正式に公立 2 名・私立 2 名の配置が決まり平成 29 年度はこの体制でスタート致しました。

4 名の幼児教育アドバイザーの方々は、県内各地の幼稚園・認定こども園等を訪問し、幼児教育の実践的アドバイスなどをお伝えしております。また、幼保小連携の千葉県としての冊子を作るための活動も行っています。

((一社) 全千葉県私立幼稚園連合会常任理事、  
千葉市・めぐみ幼稚園／杉森信幸)

## 県外視察研修

当連合会では、毎年、様々な優れた施設等を訪問する、県外視察事業を行っています。

今年度は、福井県の幼児教育支援センターと市内の幼稚園を訪問し、情報を提供する側、利用する側両者からの説明を受けることができました。

また、今回は県議会議員の方々にも同行していただいたこともあり、当県でのセンター設置に向け、より一歩近づいた感触を受けたところです。

昨年度以前では、東京・長崎・宮城・熊本・石川・鹿児島・北海道などなど、九州内外を問わず、その年々でトピックスのあるところへ訪問させていただいてきました。

園の施設整備はもちろんですが、絵本の展示方法やちょっとした隠れ部屋のような空間、トイレ指導の壁面の使い方などなど、自園の在り方に変化を求めている部分にたくさんのヒントを頂いております。

たっぷり勉強した後は、その土地の文化や味にも触れ、五感にたくさんの刺激を受けて、自園に持ち帰り、翌日からの保育へ繋げていっております。

この事業は、今年で 27 年となりますが、当連合会発足 5 年目から継続している事業であり、今後も続けていきたいと考えています。

訪問の依頼をさせていただいた時は、ぜひ、お受けいただきますように全国の先生方、よろしく申し上げます。

(大分県私立幼稚園連合会総務委員長、大分市・やまばと幼稚園／山崎佐和子)

## 編集後記

古代中国が考案した文明の利器に「指南車」と呼ばれているものがあります。これは、時々吹く風が東方向からか西方向からのものなのか、その方向を示す《風見鶏》と違って、どのような風向きであるかにお構いなく、目指すべき不変の南北はどちらの方角であるのかを指し示す利器だったようです。◆ここ数年来、全日私幼連に所属する各園は、このまま私学助成園として存続させるか、それとも認定こども園という方向で存続させるかといった（大袈裟な表現かも知れないが）「ハムレット的な決断」を迫られてきました。◆止む

なく認定こども園への道を選択した何名かの友人たちに「結果はどうだった？」と訊ねたことがあります。「経済的にはずいぶんラクになったし、園児も幾分、増えた。だが…」と口を濁しながら言ったことは、親たちとのツキアイがずいぶん難しくなってきた、ということでした。◆幼稚園にむかって吹く風に、風見鶏的に対応してきたけれど、幼児教育の真に進むべき《真南》はどちらなのか？わたしたちは今、この問いの前に立たされていないでしょうか？

(調査広報委員・奈良誉夫)

## 平成 29 年度 (第 12 回) 免許状更新講習の認定一覧

●選択領域「受講者が任意に選択して受講する領域」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
北海道 名寄市	※「保育現場での質を高める」 幼児教育及び保育について理解と実践をふり返り、応用力をつけ現場における現代的な課題に関する知識と理解を得ることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。	今野道裕（名寄市立大学保健福祉学部社会保育学科教授） 糸田尚史（名寄市立大学保健福祉学部社会保育学科教授）	6 時間	平成 30 年 3 月 3 日	50 人	平 29-80012-508014 号
北海道 名寄市	※「保育現場での質を高める」 幼児教育及び保育について理解と実践をふり返り、応用力をつけ現場における現代的な課題に関する知識と理解を得ることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。	傳馬淳一郎（名寄市立大学保健福祉学部社会保育学科准教授）	6 時間	平成 30 年 3 月 4 日	50 人	平 29-80012-508015 号
宮城県 仙台市	本講習では「幼稚園の役割を広め深める」ことを目的とし、「1. 教育要領の改訂について2. ファシリテーターについて理解を深める3. 認定こども園の現状と課題について」の3つのテーマを中心とした講義を行う。	宮本美和子（聖和学園短期大学非常勤講師）、村山十五（村山学園理事長）	6 時間	平成 30 年 3 月 25 日	50 人	平 29-80012-508016 号



新しいものを見るたび、触れるたび、  
目覚ましく成長する子どもたち。  
子どもたちにとって、毎日が成長の舞台です。  
育む環境で、子どもたちの明日は変わる。  
だから、私たちは大切なことを「環境」から考えます。  
好奇心や想像力、勇気や感動。  
そして、子ども同士の関わり合い。  
子どもたちが大切な時期に、確かな一歩を踏み出せるように、  
最適な環境の未来をつくりあげていきます。

こども環境の未来をつくる

